

作成日： 2025 年 3 月 2 日

レクチャーに参加した外来看護師さんへ 【過去のアンケートデータの臨床研究への使用のお願い】

順天堂大学医学部附属順天堂病院では「看護師の診断エラー教育()前後での診断エラーの感じ方の変化を調査した研究() (診断エラーは、従来の「誤診」や「過失」とは異なり、一つの学問として確立されている。米国医学院の報告書にある“ To err is human ”にもあるように、人はみな意図せず間違えることが前提としてあり、エラーが発生する要因としても医療者のミスだけでなく医療システム全体の欠陥も強調されている。診断エラー学においては、誰しも間違え得ることを知りそこから学ぶことの重要性を問いている。)」という研究を行っております。この研究は、診断学/診断エラーの教育前後での看護師の診断エラーの感じ方の変化を調べることを主な目的としています。そのため、過去にレクチャーした際のアンケートデータを使用させていただきます。

- 1.この研究の対象となる看護師さんは、西暦 2025 年 1 月 15 日の外来看護師向けの臨床推論・診断学のレクチャーを現地もしくはオンライン・オンデマンド視聴した方です。
 - ・利用させていただく情報：アンケート回答項目の看護師としての学年や、診断学/診断エラーの過去の教育歴や診断エラーに関する内容です。
 - ・収集期間：西暦 2025 年 1 月 15 日～西暦 2025 年 2 月 16 日
 - ・試料・情報の管理責任者：順天堂大学医学部附属順天堂病院（研究責任者：宮上泰樹）
- 2.この研究は順天堂大学医学部医学系研究等倫理委員会の承認および研究機関の長の許可を受け、以下の期間で行われます。また、試料・情報の利用を開始する予定日および外部への提供を開始する予定日は以下のとおりです。
 - ・研究実施期間：研究実施許可日 ～ 西暦 2027 年 12 月 31 日
 - ・利用又は提供を開始する予定日：研究実施許可日
- 3.過去の診療情報を使用する研究であり、新たな検査や費用が生じることはなく、また、使用させていただいた看護師さんへの謝礼等ありません。
- 4.看護師さんの情報は、個人を特定できる情報とは切り離した上で使用します。また、研究成果を学会や学術雑誌で発表しますが、看護師さん個人を特定できる個人情報を含みません。

5.この研究の結果、特許などの知的財産が生じる可能性もございますが、その権利は大学・研究者に帰属し、あなたには帰属しません。

6.この研究は、総合診療科の研究費によって実施しておりますので、外部の企業等からの資金の提供を受けておりません。研究者が企業等から独立して計画し実施することから、特定の企業が研究結果および解析等に影響を及ぼすことはありません。また、本研究の責任医師および分担医師には開示すべき利益相反はありません。

7.本研究は以下の体制で実施します。(この研究は当院のみで行う自主研究です)

順天堂大学医学部附属順天堂病院(研究責任者:総合診療科 宮上 泰樹)

<既存試料・情報のみを収集し提供する機関>

該当なし

<研究協力機関>

該当なし

<委託機関>

該当なし

この研究は「人を対象とする生命科学・医学系研究に関する倫理指針」の規定により、研究者等は、患者さんからインフォームド・コンセント(説明と同意)を受けることを必ずしも要しません。そのため同意を取得する代りに対象となる患者さんへ向けホームページで情報を公開しております。

この研究の対象となる患者さんで、ご自身の情報は利用しないでほしい等のご要望や、研究に関するご質問がございましたら、大変お手数ですが【お問い合わせ先】までご連絡ください。なお、情報の利用についてご了承いただけない場合でも、今後の治療などに影響することはございません。

【お問い合わせ先】

順天堂大学医学部附属順天堂病院

連絡先:03-3813-3111

担当者の所属・氏名:総合診療科 宮上泰樹